

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【1】 計画・設計の見直し】

付着オーバーレイ工法の採用によりコスト縮減

工事名：新千歳空港エプロン改良工事

目的：新国際線ターミナルビル新設に伴い、既設エプロンの拡幅を行う。

概要：(従来) (今回)

コンクリート舗装版打換 ⇒ コンクリート版付着オーバーレイ工法

※平成16、17年に国総研を主体として技術開発された工法であり、平成18年度までは十分な知見が得られていなかった。

効果：

- ① 嵩上箇所の既設コンクリート舗装を撤去する事なく有効活用し、規定勾配内で新設コンクリート舗装に摺り付けることが可能で、コンクリート殻の撤去、運搬、処分が不要になる。
- ② 舗装工の施工量が少なくなり、工事費の軽減と工期の短縮が図られる。
 - 舗装及び撤去工事費を、142百万円から72百万円に縮減。
(縮減額 70百万円、縮減率 約49%)

